

## 第20回マイコンカーラリー近畿地区大会 Basic Class 車検証明書

学校名	
学科・系	
生徒氏名 (学年)	(      年)

**※生徒自身がチェック項目を確認して、チェックを付けること。分からない単語は先生に確認すること。**

	チェック項目	チェック
1	大会参加年度以前に、JMCR実行委員会が主管、または後援する各大会に出場したことがない(過去に共同制作者として参加した者も不可)、また今までに製作したマイコンカーが、Basic Class対象のみである	
2	参加者自身が、回路や車体を製作し、プログラムを作成している	
3	電源及びエネルギー源は単三アルカリ電池又は単三2次電池(1.2V)8本とし、駆動系(サーボモータ含む)に4本、制御系(マイコンボード含む)に4本の電池を使用している、また変圧はしていない(三端子レギュレータ取り付け不可) <b>すべての電池の単三アルカリ電池記号(「LR6(JIS)」、「AM3(国内旧称)」、「単三形(国内通称)」、「AA(米国内通称)」)または単三2次電池記号(「AA(米国内通称)」)が確認できること。</b>	
4	駆動系電源と制御系電源には、電源供給をON/OFFできる各スイッチが取り付けられている	
5	マシンの外形は幅300mm以内、高さ150mm以内である	
6	マシンのタイヤ(同等の機能を有するものを含む)はコース面上に接触しながら走行する構造である(接触部分に粘着性物質を使用していない)	
7	タイヤ幅は30mm未満、4輪以内である	
8	スタートバーが開いたことを検出するセンサを搭載している(スタートバーに接触しない)	
9	吸引機能を用いていない	
10	電気二重層コンデンサを用いていない	
11	走行時にコースを損傷させたり汚したりするおそれのある構造ではない	
12	センサはコースの色検出、及びスタートバーの開閉検出のみである	
13	マイコンボードは、競技規則別表2に示すものを1枚使用している ※マイコンボードを改造している場合、コネクタの追加のみである ※搭載ボードに○印を付けてください ①RY3048F ②RY3048Fone(TypeH含) ③MS304CP01 ④MS304CP02 ⑤RY3687 ⑥RY3687N ⑦RY_R8C38 ⑧RMC-R8C35A	
14	ギヤボックスは、競技規則別表2に示すものを2個使用し、ケースの改造はしていない 次の点については認める ①ピニオンギヤ(8T)の交換 ②シャシ取り付けネジを避けるための逃げ加工 ③シャフトの切断	
15	駆動部の動力は、競技規則別表2に示すモータ(MCR刻印付)を2個使用している ※構造は、MCR刻印の確認が容易にできること。 ※分解、内外部の加工は認めない(ノイズ除去コンデンサ等のケースへの半田付けは除く)。	
16	電池の固定には、電池ボックスを使用している ※構造は、電池を容易に取り外すことができ、電圧値の確認ができること。電池のパック化は認めない。	
17	ステアリング(操舵)機構には、競技規則別表2に示すサーボモータを1個使用している ※構造は、型式の確認が容易にできること。改造は、サーボモータの基本性能を変える加工は認めない。 ※搭載サーボモータに○印を付けてください ①HS-430BH ②S3003 ③SRM-102Z ④ES-519 ⑤ES-539	
18	センサには、競技規則別表2に示す基板を1枚使用している ※搭載センサ基板に○印を付けてください(②～④はスタートバー検出センサ基板と合わせて1枚とする) ①ミニマイコンカーVer.2のセンサ部 ②センサ基板TLN113版 ③センサ基板TLN119版 ④センサ基板Ver.4(Ver.4.1も含む) ⑤センサ基板Ver.5	
19	モータドライブには、競技規則別表2に示す基板を1枚使用している ※搭載モータドライブ基板に○印を付けてください ①ミニマイコンカーVer.2のモータドライブ部 ②モータドライブ基板Vol.2(拡張基板を含む) ③モータドライブ基板Vol.3 ④モータドライブ基板Ver.4 ⑤モータドライブ基板Ver.5	

上記内容について、適合していることを証明します。

顧問署名: